

北海道地方における気候変動予測（水分野）

技術検討委員会（第2回）を開催します

～十勝川、常呂川を対象に、気候変動による水害の変化を検討します～

平成28年8月、観測史上初めて北海道に4つの台風が上陸・接近し、記録的な大雨により全道各地で甚大な被害が発生しました。国土交通省北海道開発局と北海道は共同で、北海道地方における気候変動の影響を科学的に予測し、そのリスクを社会と共有するため、第2回目となる「北海道地方における気候変動予測（水分野）技術検討委員会」を下記のとおり開催するのでお知らせします。

第2回目となる今回は、「地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース」を活用したダウンスケーリング（気象を高解像度に再計算する方法）による将来降雨予測の分析結果、及びそれに伴う河川への流出計算結果を報告します。また、それらを踏まえ、最終取りまとめに向けた洪水リスク分析の手法について検討する予定です。

記

1. 開催日時
平成29年11月21日（火）15：00～17：00
2. 開催場所
北海道開発局研修センター 2階 講堂 （住所：札幌市東区北6条東12丁目）
3. 議事
別紙1のとおり
4. 委員
別紙2のとおり
5. その他
報道機関に公開で行います。ただし、カメラ撮りは、冒頭部分のみとします。
委員会終了後、中津川委員長への取材の時間を設ける予定です。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
建設部 河川計画課 河川企画官 空閑 健 （内線 5292）
河川調整推進官 時岡 真治 （内線 5288）
企画係長 佐々木 博文 （内線 5327）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



北海道地方における気候変動予測（水分野）
技術検討委員会（第2回）

議 事 次 第

日時：平成29年11月21日（火）15:00～17:00

場所：北海道開発局研修センター 2階 講堂

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 議 事
 - （1）前回指摘事項及び本日の進め方について
 - （2）ダウンスケーリングの実施報告
 - （3）調査・検討状況について
 - （4）その他
4. 閉 会

北海道地方における気候変動予測（水分野）技術検討委員会
委員

- 稲津 将 北海道大学大学院理学研究院教授
鼎 信次郎 東京工業大学環境・社会理工学院教授
佐々木 秀孝 気象研究所環境・応用気象研究部第3研究室長
佐藤 友徳 北海道大学大学院地球環境科学研究院准教授
関 克己 京都大学経営管理大学院客員教授
立川 康人 京都大学大学院工学研究科教授
◎中津川 誠 室蘭工業大学大学院工学研究科教授
船木 淳悟 寒地土木研究所水圏グループ長
山田 朋人 北海道大学大学院工学研究院准教授

◎委員長
(敬称略、五十音順)